

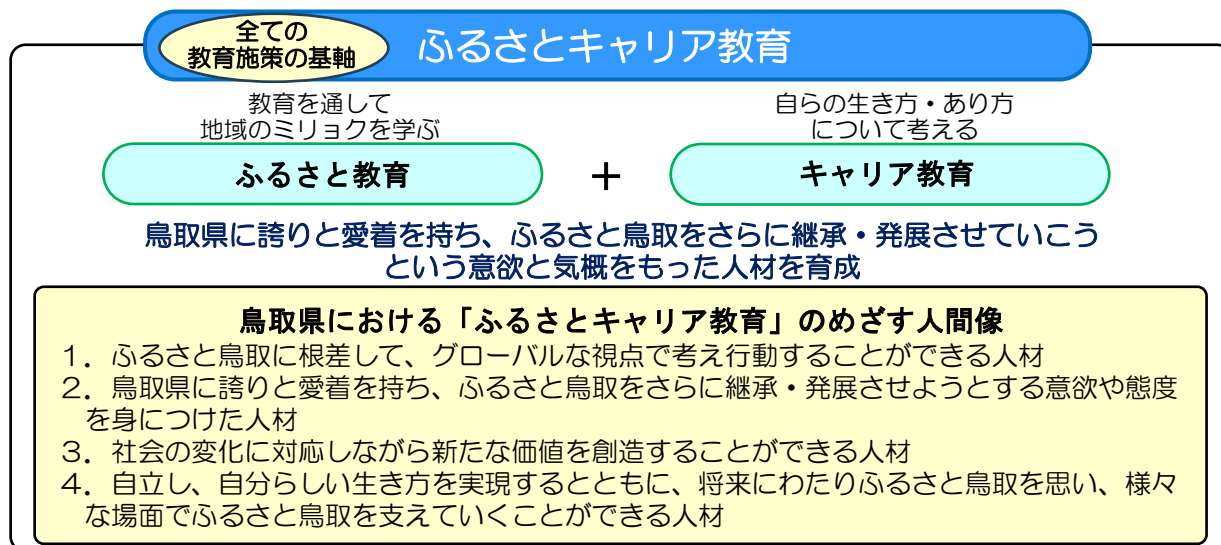
## 鳥取県の「ふるさとキャリア教育」の取組状況について

令和6年7月17日  
鳥取県教育委員会

## 1 鳥取県における「ふるさとキャリア教育」の推進

- 鳥取県教育振興基本計画（第4次）を令和5年度末に改定。その施策を推進していくために、「ふるさとキャリア教育」を基軸として取り組んでいくことを位置付け。
- 「ふるさとキャリア教育」は、鳥取県教育振興基本計画の基本理念である「自立して心豊かに幸せな未来を創造するふるさとととつりの人づくり」や国の教育振興基本計画のコンセプトでもある「日本社会に根差したウェルビーイング」を育むための取り組み。

## (1) ふるさとキャリア教育とは



## (2) 幼児期から高校卒業までを通じた系統的な取り組み



## (3) キャリア・パスポートの活用

- ・令和2年度から、すべての児童生徒が小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動を記録する「キャリア・パスポート」を持ち、高校3年生まで持ち上がっている。
- ・ふるさとキャリア教育の充実を図るため、「キャリア・パスポート」を活用し、児童生徒が学校で実施されるふるさとに関する学習の記録を残し、自らの学習状況を見通したり振り返り、自身の変容や成長を自己評価するとともに、大人（家族や教師、地域住民等）がコメントを返す等対話的に関わることで、ふるさと鳥取に誇りを持ち、未来を創造する児童生徒の育成につなげる。

## 2 主な取組状況

### (1) 学校における主な取組

#### 【小学校】

#### ア 各校における探究的な学習（主な事例）

##### 〔八頭町立八東小学校〕

##### ○6年生「八東地域の魅力を発見しよう」

横浜市在住で八頭町出身の写真家を招き、1人1台一眼レフカメラを手に写真を通して見える地域の良さを学んだ。児童は大きなカメラで撮影し、ふるさとの良さを再認識する貴重な経験となり、その体験がきっかけとなり、ふるさとの良さを発信したいという思いが高まり郡家駅や安部地区公民館で自分たちの写真展示会を開くなど、積極的に地域と関わる機会となった。

##### 〔北栄町立北条小学校〕

##### ○3年生「ブドウハウスがやってきた」～北条のじまん ブドウのヒミツを伝えよう～

北条の特産物であるブドウを食べることからはじめ、ブドウの苗木を観察したり、ハウスの名前や看板を作成することなどを通して体験したことや考えたことをわかりやすく伝える方法を考え、関係者に向けて発表した。

##### 〔日野町立黒坂小学校（現 日野学園）〕

##### ○6年生「ふるさと日野の魅力を広めよう」

社会科の学習として日野町議会を傍聴。傍聴後「僕たちもここで提案して、日野町を良くしたい!」、「日野町の魅力をどのように広めたらいいか、議会で提案してみよう」との思いが高まり、総合的な学習の時間や県内修学旅行などを通して学習を行い、「鉄道写真で町おこしを」という意見をまとめ、日野町議会で提案した。

#### 【中学校】

#### ア 職場体験学習

全公立中学校・義務教育学校後期課程の生徒（2年生）が、3日間程度、地域の企業に出向き就業体験を実施することで、地元企業を知り、働くことの意義を考える機会とする。

#### イ 各校における探究的な学習（主な事例）

##### 〔鳥取市立青谷中学校〕（「ふるさとキャリア教育」つながる・ひろがるプロジェクト）

- ・ふるさと青谷の地域資源を題材にした学年毎のテーマにより、青谷高校や青谷かみじち史跡公園との連携、青谷の伝統産業である和紙に関わる体験活動を交えながら、探究的な学びを行う。
- ・小学6年生と中学3年生及び地域住民で未来の青谷について考える「みらあおプロジェクト会議」を実施し、そこで話をした思いを全校で共有し、青谷の魅力を発信するような取組について探究していくことで、主体的に地域に関わっていく心情を育む。
- ・地元の方を中心としたゲストティーチャーを迎え、小グループで対話する機会を定期的に設けることで、生き方や働くことの意義、やりがい等、生徒個々のキャリアデザインの形成に役立てる。

##### ※「ふるさとキャリア教育」つながる・ひろがるプロジェクト（令和5年度～6年度）

全ての教育活動を通して、ふるさとを愛し、課題解決に向けて考え行動する児童生徒の育成を目指して、青や中学校を推進校に指定し、コミュニティ・スクールの取組も含めた地域と連携したふるさとキャリア教育の推進や小中高の連携を密にした効果的な実践について研究するとともに、研修会等を開催し、推進校の取組状況と成果、検討結果等の他校への普及を図る。

##### 〔鳥取市立桜ヶ丘中学校〕

3年生がSDGsをテーマとした探究学習「さくらはる課's（さくらはるかす）」を実施し、それぞれが課題を設定し、調べ学習や企業、大学等での講義等を通して解決策を探究した。「身近にある山や動物の自然を守るためにできることは何か」を課題としたグループでは、地元や行政関係者からの聞き取り等をもとに「学校給食へのジビエの活用」について意見をまとめ、文化祭で発表するなど、持続可能な社会の担い手としての多様な価値観を養っている。

##### 〔北栄町立大栄中学校〕

大栄小6年生、大栄中、鳥取中央育英高の児童生徒、地域の方や教員がテーマに沿って討議する「大栄中学校白熱大討論会」を開催し、それぞれの視点から自分の意見を述べるとともに、さまざまな立場の人の意見を聞くことで、自分の将来や地域について考える機会とする。

○R5年度テーマ：「君たちはどう生きるか」 ※鳥取中央育英高はR5年度から参加

### 〔米子市立後藤ヶ丘中学校〕

3年生の探究学習「持続可能で魅力あふれる地域社会にしよう」において、グループで①地域を支える企業の話を知る、②企業分析（SWOT分析等）、③企業に分析結果の報告及び解決したい課題のヒアリング、④企業に課題と改善案のプレゼン、⑤全校発表を行うことで、「自己肯定感」「達成感」「協働性」「社会貢献意識」「学校や地域でのつながり」の意識を醸成する。

### 【高等学校】

#### ア インターンシップの実施

産業界、高等教育機関、大学生（卒業生）、高等学校の関係者により、生徒、企業、学校のニーズに合ったプログラムを検討するとともに、地元企業と連携して、インターンシップを実施する。

※R4年度実施校数：全日制16校/22校、定時制1校/4校、通信制2校/2校

#### イ とっとり夢プロジェクト

創造力とチャレンジ精神を持った、高校、特別支援学校高等部及び高等専門学校（1～3年次）に在籍する個人又はグループが行う自主的な活動を支援し、生徒自らの自主性・個性の伸長、学校や地域の活性化につなげる。

#### 〔企業との連携による地域課題解決の取組（R5年度補助事業）〕

○米子市内の高校生の協働による米子市中心市街地における活性化のための実証実験（略称：YY（ワイワイ）プロジェクト）

米子西高、米子高、米子南高の生徒がそれぞれの学校で学んできた得意分野を活かした協働により、商店街の活性化に取り組んでいる民間業者と連携し、新商品開発と、空き店舗を無人店舗化して有人店舗とハイブリット型商店街とすることで注目度を高め、地域住民の利便性向上と賑わいの創出を図り、地域を活性化する取組の実証実験を行う。

#### ウ 各校における探究的な学習（主な事例）

##### 〔岩美高校〕

岩美町内の地区の活性化や観光地化など地域の方にも関わってもらいながら探究を行う「イワッツ・ミッション」を実施。地域で活躍する人材や企業の方の講話を聞いたり直接アドバイスをもらったりして探究の活動が深まるように工夫している。地域の環境や文化等の探究や地域活性化やまちづくりに向けた取組をとおして地域への愛着心や貢献意欲の向上を目指している。

##### 〔鳥取中央育英高校〕

地域創造を軸にテーマを設定し、北栄町を中心に地域活性化に資する取組等の探究を行う「地域探究の時間」を実施。体験活動（フィールドワーク）を重視し、生徒が地域への関心を高め地域の魅力や課題を探究し、地域貢献活動の意識を高めたり自らが地域創造のリーダーとなり得るということに気付くことなどをねらいとして取り組んでいる。

##### 〔米子西高校〕

2年生で「地域課題解決コース」を選択した生徒が、地域イベントへの参加や課題の設定、解決策等の探究を行う「みらいチャレンジ活動」を実施。米子市役所と連携し、米子市の課題などの具体的な提示によって動機づけを行い米子市まちづくりビジョンに関する探究の活動に取り組んでいる。

## （2）県教育委員会における実施事業

### ア ととりのミリオク発見！発信！親子でおしごと体験ツアー（令和5年度～）

県内の企業を小学校4～6年生の親子で訪問し、仕事の見学や体験を行うとともに、そこで働く方に働きがいやふるさと鳥取で働く思いについて聞く。 ※東中西の圏域ごとに実施

### イ ふるさとキャリア教育CMコンテスト ～わたしたちのまちを紹介しよう（令和5年度～）

自分たちの住んでいるふるさとを紹介するCM動画を作成することを通して、地域の良さを再発見し、鳥取県に誇りと愛着を持ち、ふるさと鳥取をさらに継承・発展させていこうという意欲と気概をもった人材を育成するとともに、児童生徒の活動を発信し、多くの人にその活動が認められることで子どもたちの自己肯定感が向上することを目指す。

※小学校上学年、中学校、高等学校の3部門、R5年度応募数120作品

### ウ ふるさとキャリア教育フェスティバル（令和5年度～）

「親子でおしごと体験ツアー」参加児童による学びの成果発表及び成果物の展示、「ふるさとキャリア教育CMコンテスト」入賞作品の表彰式及び応募全作品を放映するとともに、「親子でおしごと体験ツアー」協力企業6社によるパネルディスカッション及び協力企業の紹介とおしごと体験コーナー等を実施。

### エ 中学生トークプログラム

中学生と地域の大人・大学生等が少人数のグループで、働き方や生き方等のテーマに沿って自由に話すことで、中学生は将来の夢や目標、地域への愛着を育み、地域の大人・大学生等は地域の学校教育に対する興味・関心を高める。 ※R5年度実績：東部5校、中部1校、西部8校

### オ 「ふるさと鳥取企業読本」の作成、配布

県内企業292社の情報を掲載した冊子を作成。職場体験充実のための方策や活用実践例等も掲載し、地元の身近な企業の魅力を知るとともに、各学校における職業調べや職業体験活動等で活用する。

※令和6年3月に開設した「とっとり教育ポータルサイト」にも「ととりの企業・仕事」として電子版を掲載。

## 3 令和6年度の主な実施事業

区 分	内 容
ふるさとキャリア教育CMコンテスト	小中高生を対象に、ふるさと鳥取の魅力を紹介する動画（CM）のコンテストを実施し、入賞作品をインターネット等により世界へ向けて発信する。 ※R6年度募集期間：10/1（火）～11/29（金）
ととりのミリョク発見！発信！親子でおしごと体験ツアー	小学生の親子を対象に、県内企業を訪問し、様々な仕事を見学、体験するツアーを実施する。また、ツアーで得た学びを自由研究や動画により発信する。 ※R6年度：7/29（月）～31（水）に東・西・中部で実施予定
ふるさとキャリア教育フェスティバル	親子でおしごと体験ツアーに参加した児童による学びの発信、ふるさとキャリア教育CMコンテストの表彰、講演等を行う。 ※R6年度：2/1（土）、エースパック未来中心で開催予定
高校生による若者定着事業	<地域課題研究発表> 探究学習により、若者定着に関する地域課題に係る実現可能な施策を探究学習で深める。また、学習成果を発表する課題研究発表会を開催する。 <とっとり夢プロジェクト> 高校、特別支援学校高等部及び高等専門学校に在籍する個人又はグループが行う自主的な活動を支援する。
高校生を対象とした県内企業の魅力発信	高校生に対して県内で働く魅力を伝えるため、企業見学及び企業経営者、若手社員等による講座を開催する。
高校生の地域活動等の推進	高校生が、大学生や地域住民・団体・企業等が実施する地域活動に参加し、地域住民等との活動・交流を通じて地域への理解・関係性を深める、特徴ある取組を支援する。
とっとりEYE（愛）デジタルガイドの作成	鳥取で育つ子どもたちの郷土愛を醸成するため、小中高校の段階に応じた県全域の観光等の魅力、産業、住みやすさなどの小中高校生が定住やUターンに“共感”するコンテンツを詰め込んだ、新たな教材（デジタルガイド）を産学官・若者が協働して制作する。
教員を対象とした産業（企業）見学会	中高校生に対し、教員等を通じて県内で働く魅力を伝えるため、教員等対象の企業見学会を実施する。

○とっとり若者Uターン・定住戦略本部とも連携を図り、若者の意見を踏まえ、ふるさとキャリア教育の取組を促進

※とっとり若者Uターン・定住戦略本部：若者のUターン・定住を促進するため、産学官が連携して若者（当事者）の意見を取り入れた施策等のアクションを起こす実行組織（R6.4.1設置）

鳥取県における「ふるさとキャリア教育」のめざす人間像

1. ふるさと鳥取に根差して、グローバルな視点で考え行動することができる人材
2. 鳥取県に誇りと愛着を持ち、ふるさと鳥取をさらに継承・発展させようとする意欲や態度を身につけた人材
3. 社会の変化に対応しながら新たな価値を創造することができる人材
4. 自立し、自分らしい生き方を実現するとともに、将来にわたりふるさと鳥取を思い、様々な場面でふるさと鳥取を支えていくことができる人材

学校(コミュニティ・スクール)

連携・協働

保護者・地域・社会

ふるさと教育の視点

◇幼児教育施設(幼稚園・保育所・認定こども園及び特別支援学校幼稚部)

【0歳から就学前】

- 地域の特色を生かした遊び
- 身近な自然や文化・伝統に親しむ遊び

◇小学校・義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部

【全体】

- 特別の教科 道徳
- 特別活動〔学級活動(3)キャリア教育〕
- 土曜授業等

【1、2年生】

- 生活科

【3、4年生】

- 社会科

〔実践例〕・学校のまわり ・水はどこから

○総合的な学習の時間

【5、6年生】

- 社会科

〔実践例〕・自然災害を防ぐ  
・情報産業とわたしたちの暮らし  
・わたしたちの暮らしと政治

○総合的な学習の時間

◇中学校・義務教育学校後期課程及び特別支援学校中学部

○社会科

〔実践例〕・歴史の調べ方 まとめ・発表の仕方  
・身近な地域の調査  
・これからの食糧生産とわたしたち

○特別の教科 道徳

○総合的な学習の時間

○特別活動〔学級活動(3)キャリア教育〕

○土曜授業等

○職場体験

◇高等学校

◆全県立高校でふるさとキャリア教育全体計画に基づいた事業を実施  
→ふるさとキャリア教育充実事業を実施し、生徒の社会的自立に必要な能力等を育成

〔内容〕・社会人講師による講演 ・地元事業所訪問 ・地域貢献活動  
・インターンシップ等の実施

<普通学科>

○総合的な探究の時間、特別活動等

〔実践例〕・探究型プロジェクト学習

<専門学科>

○課題研究、関連する教科・科目等

〔実践例〕・テクノボランティア(工業科目の技術技能を生かした地域貢献活動)  
・地域食材の活用と商品

<総合学科>

○産業社会と人間

○総合的な探究の時間、特別活動等

〔実践例〕・青谷学(青谷の探究学習)

・日野探究

(地域と連携した協働的かつ探究的な活動)

◇特別支援学校高等部

◆全県立特別支援学校において、個別の教育支援計画を作成し、障がいの状況等に応じたキャリア教育を実施

〔実践例〕・就労促進セミナー、福祉セミナーの実施(各圏域)

・鳥取県特別支援学校技能検定の実施

夢や希望に向かって果敢にチャレンジし、将来ふるさと鳥取県に貢献する気概を持つ生徒に成長

→卒業(進学)の際にふるさと鳥取応援アプリ「とりふる」へ登録(学生登録)

キャリア教育の視点

全県で統一したビジョンにより推進

地域とともにある学校づくり

○学校・保護者・地域住民等が教育の当事者となることで、責任感を持ち、積極的に子どもへの教育に携わる。  
・学校運営や教育活動へ参画することで、子どもたちの学びや体験を充実させるとともに、大人の自己有用感や生きがいに繋げる。  
・顔が見える関係となり、保護者や地域住民等の理解と協力を得た学校運営を推進する。

・地域住民、学生、保護者、PTA、NPO法人、民間企業、各種団体の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える。

社会に開かれた教育課程

学校運営協議会

一体的推進

地域学校協働本部

地域学校協働活動

・地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える。

学校を核とした地域づくり

「キャリア・パスポート」(児童生徒が活動を記録し蓄積する教材等)を軸に、「人(つながり・絆)」、「物(自然・文化・歴史)」、「仕事(金)」を系統的につなぐ

○地域の自然遊びへの支援・協力

○地域の文化・伝統に親しむ機会の提供

○郷土学習・ふるさと学習・地域の自然を学ぶ学習・キャリア教育(地域での職場見学・体験等)への協力

○地域行事への児童の参加促進(伝統文化・芸能の継承(祭り等)、防災訓練等)

○学校支援(花壇整備、登下校見守り、あいさつ運動、学習支援、読み聞かせ等)

○児童のまちづくりへの参画機会の提供と協力(花壇整備、防災マップ作成等)

○リーダーとなる子どもの育成支援(公民館主催のリーダー研修等)

○郷土学習・ふるさと学習・地域の自然を学ぶ学習・キャリア教育(地域での職場体験等)への協力

○学校支援(あいさつ運動、読み聞かせ等)

○生徒のまちづくりへの参画機会の提供と協力(地域課題解決学習、地域の特産品づくり、中学生議会への参加等)

○リーダーとなる子どもの育成支援(県子ども会育成連絡協議会主催のジュニアリーダー研修)

○生徒のまちづくりへの参画機会の提供(地域探究、高校生サークル等による地域づくり、高校生議会への参加)

○地域貢献活動の受入れ(清掃活動、地域イベント・高齢者施設でのボランティア活動等)

○キャリア教育(インターンシップによる就労体験、県内企業による企業合同説明会等)への支援

【県教育委員会のその他の取組】

◇社会教育関係者等の人材育成  
学校教育と社会教育の連携・協働等を推進するための人材の育成

◇青少年社会教育施設等での自然体験活動  
星空観察、キャンプ、登山、スキー、自然観察等

◇県全体での「とっとり県民の日」一斉取組  
地産地消給食、鳥取県クイズ、歴史小冊子配布

◇ふるさとキャリア教育CMコンテストの開催

◇知の拠点としての図書館機能の充実

◇魅力ある博物館づくりの推進

◇鳥取県立美術館の整備

小・中・義務教育学校・各市町村で独自の取組を実施  
特別支援学校小学部・中学部・各学校で様々な取組を実施

高等学校・特別支援学校高等部・各学校で様々な取組を実施

県キャリア教育推進協力企業による協力・支援

県  
家  
庭  
教  
育  
推  
進  
協  
力  
企  
業  
に  
よ  
る  
協  
力  
支  
援

※特別支援学校(幼稚部・小学部・中学部)においては、幼児教育施設、小学校及び中学校に準じた取組を各学校で行うとともに、児童生徒の居住地域及び学校周辺校において「交流及び共同学習」を実施している。

